

パークアクシス赤塚

Park Axis Akatsuka

No. 09-007-2019作成

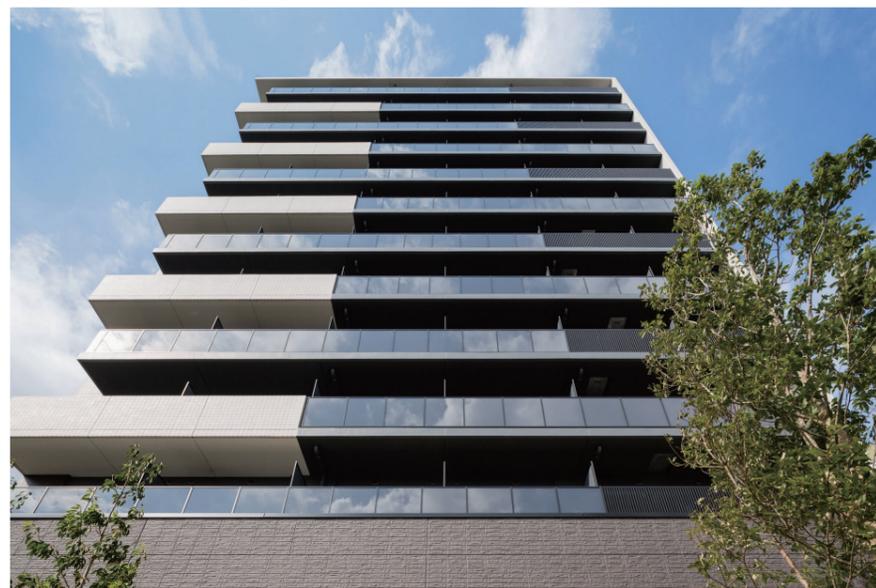
新築
集合住宅/店舗

発注者	三井不動産レジデンシャル株式会社 丸紅株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
設計・監理	佐藤工業株式会社一級建築士事務所	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	佐藤工業株式会社東京支店	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

地域の新しいランドマークを目指して



南東側外観



東側外観

計画概要

本物件は1階に3つの店舗、2階以上に156戸が積層する賃貸マンションである。立地は私鉄駅徒歩1分、地下駅徒歩3分と利便性が高く、賑わいがある。敷地の周り大きく分けると東南側は中低層の商業エリア、西側に低層の商店街、北側に低層の住宅街が広がっている。このような性格の異なる周囲に対し、それぞれに対話するような存在の建物を目指した。

外観デザイン

<建物南東側>

大通りに面した建物南東面は商業エリアの喧騒に負けない力強くシンボリックなデザインで街のランドマークとなるよう計画した。

具体的にはバルコニーの手摺をRCの腰壁、ガラス手摺、縦格子手摺の3種類を組合せ、動きを持たせて配置し、さらにバルコニーの南妻側端部位置を1フロア毎に動きを付加することで、南東角面を強調するシンボリックなデザインとした。

<建物北西側>

住宅地エリアから見て空へ溶け込むよう低コントラストな外観とした。

<基壇部>

1階は、周辺の商業エリアとの連続性を意識し、店舗の構えとしての設えに配慮しながらも、煩雑になりがちな店舗看板を外壁に組み込むことで、景観にも配慮している。



南東側外観上部



北東側外観



北西側外観



アプローチ正面



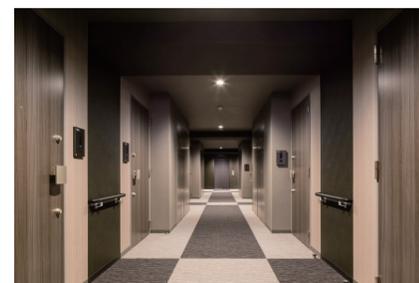
風除室



アイストッルーバー



エントランスホール



共用廊下



アプローチ

入居者の帰路を空間的シークエンスで演出する共用部

<アプローチ>

軒天・独立壁・床に外観のシンボリックな意匠を踏襲し、ダイナミックなデザイン構成を表現することで、アイキャッチな構えとした。

<エントランスホール>

アプローチの両開き扉を境に外部のシンボリックな意匠とは別世界となるよう、極力シンプルな構成とし、落ち着いた雰囲気的空間とした。具体的には床・壁・天井という3次元世界を、天・地という2極の世界に抽象化し、天と地の境を光が貫く意匠とした。

<アイストッルーバー>

エントランスホールとラウンジを一体の空間としながらも、それぞれをわざわざ隔てつつ居住者の目を楽しませるルーバーを配置した。

<共用廊下>

デザイン構成要素を天・地・ゲートの3要素にまとめ、ゲートによるシークエンスを体感できる意匠構成とした。

設計担当者

統括：蜂須賀貴之／建築：花輪貴一／構造：山口薫、矢富佳剛、大嶋拓也／電気設備：小野寺理／機械設備：白石晴盛、近藤久人

シンボルツリーや並木道を形成

シンボルツリーとしてシラカシの株立ちをアプローチ前に配し、自主管理歩道沿いにソヨゴの並木を形成することで、敷地周囲に対し良好な景観となるよう配慮した。

基本設計時から施工との密な連携を実施

人通りの多い駅前商業エリアでは、道路をふさぐような搬入は極力減らす必要がある。この為、工事車両を敷地内に納められるよう、店舗下屋部分を後施工可能なS造とすることで、躯体工事の際の円滑な搬入出に寄与した。

省エネルギー性に配慮

全住戸にペアガラス、LED照明機器、潜熱回収型給湯機を採用し、省エネルギー性に配慮した。また、東京都マンション環境性能表示において断熱性と省エネ性は、共に三つ星を獲得し、長寿命化とみどりについても二つ星を獲得した。

東京都マンション環境性能表示	
建物の断熱性	★★★
設備の省エネ性	★★★
太陽光発電・太陽熱	★★★
建物の長寿命化	★★
みどり	★★

この表示は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づくものです。2014年度基準

建物データ

所在地	東京都板橋区
竣工年	2018年
敷地面積	1,137㎡
延床面積	5,506㎡
構造	RC造、一部鉄骨造
階数	地上13階

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性(クロス更新に配慮した室内納まり)
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出(シンボルツリー、並木の創出)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮(新たなランドマークとなる外観形成)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮(建物南側に自主管理歩道を整備)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制(ペアガラスを全住戸サッシに採用)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化(全住戸にLED照明、潜熱回収型給湯機を採用)